

<課程修了の要件>

- 所要単位数 下表の通り
- 学位論文（修士） 論文審査および口述試問

① 言語聴覚士の資格取得を目指す者

区 分	単位数	備 考
専門科目	51以上	
研究科目	4	「特定課題研究演習」4単位必修
合 計	55以上	合計55単位以上修得し、かつ特定課題研究の審査に合格しなければならない。

※ただし、上記はあくまでも課程修了の要件であり、言語聴覚士国家試験受験資格を満たすには専門基礎科目35単位もあわせて履修する必要があります。

② 言語聴覚士の資格を既に有する者

区 分	単位数	備 考
専門科目	8以上	
専門発展科目	14以上	「言語聴覚学研究」4単位を含む14単位以上
研究科目	8	「修士論文演習」8単位必修
合 計	30以上	合計30単位以上修得し、かつ修士論文の審査に合格しなければならない。

人間学専攻 言語聴覚コース（2年制コース）-2019年度入学生-

開講表

2020年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
I【専門基礎科目】					
BMS 601	医学総論	1年		1	
BMS 611	基礎医学各論(解剖・生理・病理)	1年		2	
CLM 601	内科学系(内科学・小児科学・リハビリテーション医学)	1年		2	2020年度以降は「内科学・小児科学・リハビリテーション医学」を履修して読替
CLM 611	精神・神経系 I (精神医学)	1年		1	2020年度以降は「精神医学」を履修して読替
CLM 621	精神・神経系 II (臨床神経学)	1年		1	2020年度以降は「臨床神経学」を履修して読替
CLM 631	外科学系 I (耳鼻咽喉科学)	1年		1	2020年度以降は「耳鼻咽喉科学」を履修して読替
CLM 641	外科学系 II (形成外科学)	1年		1	2020年度以降は「形成外科学」を履修して読替
CLD 611	臨床歯科医学・口腔外科学	1年		1	
SLP 601	音声・言語・聴覚医学 I (神経系)	1年		2	
SLP 611	音声・言語・聴覚医学 II (呼吸・発声系)	1年		2	
SLP 621	音声・言語・聴覚医学 III (聴覚系)	1年		2	
PSY 630	臨床心理学	1年		2	
PSY 640	生涯発達心理学	2年		2	
PSY 620	学習・認知心理学	1年		2	
PSY 610	心理測定法	2年		2	
PAL 601	言語学	1年		2	
PAL 611	音声学	1年		2	
PAL 621	音声学響学	1年		2	
PAL 631	音声・聴覚心理学	1年		2	
PAL 641	言語発達学	1年		1	
SWR 601	社会保障制度・関連法規	2年		1	
SWR 611	リハビリテーション概論	2年		1	
II【専門科目】					
DIS 601	言語聴覚障害学概論	1年		2	
DIS 602	言語聴覚障害診断学	1年		2	
DIS 611	失語・高次脳機能障害学 1	1年		2	2020年度以降は「失語・高次脳機能障害学 1」を履修して読替
DIS 612	失語・高次脳機能障害学 2	1年		1	2020年度以降は「失語・高次脳機能障害学 2」を履修して読替
DIS 613	失語・高次脳機能障害学 3	2年		1	
DIS 614	失語・高次脳機能障害学演習 1	1年		1	2020年度以降は「失語・高次脳機能障害学演習 1」を履修して読替
DIS 615	失語・高次脳機能障害学演習 2	2年		1	
DIS 621	言語発達障害 1	1年		2	
DIS 622	言語発達障害 2	1年		1	
DIS 623	言語発達障害 3	2年		1	
DIS 624	言語発達障害学演習 1	1年		1	2020年度以降は「言語発達障害学演習 1」を履修して読替
DIS 625	言語発達障害学演習 2	2年		1	
DIS 631	構音・音声障害 1	1年		2	2020年度以降は「運動障害性構音障害 1」を履修して読替
DIS 632	構音・音声障害 2	1年		1	2020年度以降は「運動障害性構音障害 2」を履修して読替
DIS 637	器質性構音障害特論	2年		1	
DIS 638	音声障害特論	2年		1	
DIS 634	摂食嚥下障害 1	1年		2	
DIS 635	摂食嚥下障害 2	2年		2	
DIS 636	機能性構音障害特論	1年		1	2020年度以降は「機能性構音障害」を履修して読替
DIS 641	脳性まひ特論	2年		1	
DIS 651	吃音	2年		1	
DIS 652	発声発語・摂食嚥下障害学演習 1	1年		1	2020年度以降は「発声発語・摂食嚥下障害学演習 1」を履修して読替
DIS 653	発声発語・摂食嚥下障害学演習 2	2年		1	
DIS 661	聴覚障害学特論 1 (小児)	1年		2	2020年度以降は「聴覚障害学 1」を履修して読替
DIS 671	聴覚障害学特論 2 (成人)	1年		2	2020年度以降は「聴覚障害学 2」を履修して読替
DIS 672	聴覚障害学特論 3 (補聴器・人工内耳)	2年		2	
DIS 673	視覚聴覚二重障害	2年		1	
CLI 601	臨床実習	2年		12	
CLI 611	総合演習	2年		2	

科目番号	科目名	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
Ⅲ【専門発展科目】					
STS 601	言語聴覚学研究	1年		4	②言語聴覚士の資格を有する者は履修必須
STS 611	言語聴覚障害学演習 A	1年		2	2020年度以降は「言語聴覚障害学演習 A」を履修して読替
STS 612	言語聴覚障害学演習 B	1年		2	2020年度以降は「言語聴覚障害学演習 B」を履修して読替
STS 613	高次脳機能障害学演習 A	1年		2	2020年度以降は「高次脳機能障害学演習 A」を履修して読替
STS 614	高次脳機能障害学演習 B	1年		2	2020年度以降は「高次脳機能障害学演習 B」を履修して読替
STS 615	言語発達障害学演習 A	1年		2	2020年度以降は「言語発達障害学演習 A」を履修して読替
STS 616	言語発達障害学演習 B	1年		2	2020年度以降は「言語発達障害学演習 B」を履修して読替
Ⅳ【研究科目】					
STS 711	特定課題研究演習	2年		4	①言語聴覚士の資格取得を目指す者は履修必須
STS 712	修士論文演習	2年		8	②言語聴覚士の資格を有する者は履修必須